

駅員配置と周辺対策で安全で利用しやすい箸尾駅に

やつお春雄町議が近鉄交渉に参加して直接要望し前向きな回答がありました！

日本共産党近畿ブロック事務所が2月24日近鉄交渉を行いました。



大阪・京都・奈良の地方議員が参加し、利用者や近所の皆さんから、駅の無人化で不安の声が出ていることを紹介し、駅員の配置や安全対策、利便性の改善など直接要望しました。

箸尾駅への駅員配置、踏切の拡幅を要望

箸尾駅は地域の方々の方々の足であるとともに、広陵高校の最寄り駅となっており、次の二点について要望しました。

- ① 駅員を配置すること。近鉄側での配置が困難ならば広陵町と十分に協議してほしいこと。
- ② 箸尾駅東側の踏切が狭く朝の出勤時間帯に渋滞が発生し、広陵高校生の通学にも支障がでているので拡幅などの改良をすること。

《高校生の声》 部活で遅くなり、日が暮れてから一人で駅のお手洗いを利用したいと思っててもこわくてで

きない。

《地域住民の声》 朝の時間帯によく渋滞する。道路が狭く車の対向も難しく危険。

近鉄側回答

「現在のところこれ以上無人駅を増やす予定はない。箸尾駅の駅員の配置や踏切の拡幅は広陵町から協議の申し入れがあれば応じたい。高校生の通学路であり歩道の新設などの安全対策が検討されるべきではないかと考える。」というものでした。



近鉄交渉で起立して要望するやつお議員



現地調査を行うやつお議員

町議会一般質問で町に対して近鉄と協議するように申し入れます。要望実現のため力をあわせ共にならばりましょう。

広陵民報

発行 : 日本共産党広陵支部
町会議員 ^{やつお}八尾 春雄 Tel.0745-60-0972



2016 (平成28) 年3月号外 (日本共産党は政策を発表しました)

ご要望、ご相談がありましたら日本共産党やつお春雄事務所までご連絡ください。